

桜中だより

長崎市立
桜馬場中学校
校長 大塚 潤

プツプツミラムな夏休み

規律ある生活と家庭学習の習慣を

1学期約70日間（授業日数）が今日で無事終わりました。
大運動会の成功、中総体の頑張り、全校応援での一体感、地域学習への積極的な参加等、充実

した学期となりました。これも、本校の教育活動への保護者や地域の皆様のご理解・ご協力のおかげと感謝申し上げます。夏休みは、家族・地域の一員として、正しい判

断・行動を心がけて生活できるように事前指導してまいりました。家族の一員としての役割を前進でさせてください。子どもは、お客さんでも下宿人でもありません。



2年生 デートDV防止教室の一コマ

「可能性」も、「才能」も、花開く夏

どんどん挑戦 ぐんぐん成長

特に勉強を理由にちやほやしないことです。

今日は親子で通知表を見ながら1学期の学校生活全般について反省をし、2学期への展望をしっかりと確認した上で、夏休みに入ってもらいたいと思います。

通知表は、1学期を振り返って2学期の目標を立てるためのものです。ご家庭でも励ましてくださるようお願いいたします。数字や記号だけを見て、「よかったね」と褒めたり、「もっと頑張れよ」と励ましたりすることがあります。重要なことは、どこが良かったのか、努力すべきことはどこなのかを具体的に指摘しあうことです。

このことをお子様自身に気づかせ、次の課題を明確に指し示します。また、前年度（前学期）と比べて、どう変化したのか、特に進歩・成長したところに目を向けて、こ

れまで努力してきたことを褒め、次の課題を意識させるようにします。

通知表は、子どもが学習してきたことすべての成績を表したものではありません。各教科の学習状況の一部を評定したものです。子どもを成長させるひとつの手段として活用したいものです。

お子さんの42日間を有意義に過ごすことができますよう、ご協力をお願いいたします。

校長講話

まずは、1学期、4月から7月の4か月間の皆さんの成長・努力・頑張りを約5分間のスライドにまとめましたので、みんなで振り返りましょう。

いかがでしたか。忘れてはならないこと。それは、そのとき、一人になって頑張ったこと、一つになって頑張ったこと、そして、一つ一つの場面で、先生

から、家族から、地域の方から、クラスメイトから、先輩・後輩から、もう一つの言葉。それらの言葉が君たちをさらなる高みへと導く原動力となるはず。支えてもらった人たちにしっかりと感謝の気持ちを表してほしい。

4月からの4ヶ月間で、あなたはどんな点が成長しましたか。どんなことができるようになったか。次の6つの中であなただけが1番できたなあと思うのはどれですか？

1 いつでも、どこでも、だれとでも「桜色のあいさつ」ができましたか。
2 自分のスケジュールや健康を自分で管理し、遅刻や欠席をしないで登校できましたか。
3 自分に必要な学習を自覚し、粘り強く、意欲的に取り組めましたか。教科の学習だけでなく、平和学習・地域学習・キュビナでの学習等など。

4 いろんな活動の中で、課題を発見・解決しながら、日常生活をよりよいものにして頑張ることができましたか。
5 言葉を大切にし、互いを認め、励まし合うことができましたか。
6 学校行事や部活動・習い事に、意欲的かつ積極的に取り組むことができましたか。

みんな、それぞれに、がんばったこと、成長したところがあるよね。最初のスライド見て、先生もみんなの頑張りを再確認しました。授業では、学校行事では、生徒会活動では、部活動では、習い事ではどうだったのか、今一度自分に問いかけて、自身を、そして仲間をリスペクトしてください。

反対に、もっとなんばればよかった。悔いが残るところもあると思います。その反省する気持ちが大切。今の6つの項目の中で、あなたが1番できなかったのはどれですか？これからの生活



にその反省する気持ちを生かすことで、一步一步改善してください。

さて、通知表には君たちの1学期間の足跡がある。「こんなことがあった」「こんなことができなかった」「1学期はできなかったのに、2学期はこんな生徒に成長してほしい」となどと願いを込めて、先生方が一生懸命心を込めて、時間をかけて、作成しました。

学級担任の先生との面談や、授業中教科担任の先生からいただいたアドバイスを、何度も自分に問いかけることで、これからの人生をたくましく生き抜いていくための「心の力」を身に付けることができます。

一人にならう、一つにならう

て努力したことを自信と誇りにして、できなかったことを心のばねにして夏休みの42日間をさらに成長してください。

42日間をどう過ごすか、どんな夏休みにするか、皆さんが自分で判断し、行動することが出来る時間が圧倒的に多くなりま

す。宿題はなるべく早く終わらせ、皆さん一人ひとりならでは、自分には出来ない、自分らしい、「プレミアムな時間」を存分に楽しんでください。

私が考えるプレミアムな夏休みの過ごし方は2つあります。

1つ目は、「新しいことに挑戦し、やり遂げるチャン

スにしてほしい」「自分の興味や趣味に合わせたアクティビティをしてほしい」ということ。例えば、部活、音楽、アート、読書、英検、数検、漢検など、何かの資格に挑戦する。家の手伝い、夏休みの昼ご飯は自分で用意する、自分の衣類は、自分で洗濯する、普段は親にやってもらっていることをやってみるなど。

人は、少し高い目標を設定して挑戦し、やり遂げることで、脳内のドーパミンという物質の分泌が活発になり、次への挑戦意欲がわいてきます。成長するきっかけは、「背伸び」。もともとできることに加え、背伸びして少し挑戦してみることに。

「目標←挑戦←達成」のサイクルが習慣になると、皆さんの能力は飛躍的に伸びます。夏休みだからこそ普段はできない、また、他の誰にも真似できない、あなたにしかできない、個性的な挑戦のある時間を過ごしてほしいと願っています。

2つ目のプレミアムな時間は、「様々な出会いの機会を大切にしてほしい」「社会的な活動、地域行事やボランティア活動に参加してほしい」ということ。皆さんの中には、夏休み中に人生を大きく変えるような運命的な人と出会いを経験し、自分自身に目覚め、生き方を深く考える人が出てくるかもしれません。人は出会いによって、自らを外から眺め、より豊かな人生を求めて動き始めます。また、人との出会いではなくとも、本や風景、文化との出会いの中で自分自身の生き方を考える人が出てくるかもしれません。

人は自分のことだけを考えていたら、一人分のエネルギーしか沸いてきません。でも、家族のためや地域のために頑張ろうとすれば、皆さんの中にすごいエネルギーが沸き起こっています。どうか、そのチャンスとなるようなプレミアムな夏休みにしてください。

掲 示 板

- 1 まだ未提出のご家庭は、学校評価に関するアンケートをお願いします。夏休みをにかけて集計・分析をして結果をご報告いたします。
- 2 夏季休業期間中の三者面談（二者面談）では、大変お世話になります。
- 3 夏休み中に多くの高校がオープンスクールを実施します。3年生は積極的に参加させてください。桜中の生徒として観察されていることをお忘れなく。
- 4 部活動は各部の計画に従って実施します。顧問の勤務の都合で、保護者に安全管理、熱中症予防、引率などご協力を求める場合もあります。ご理解・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。
- 5 虫歯やその他病気の治療が必要な人は、ぜひ済ませてください。
- 6 夏休みの宿題は、全部やって確実に提出するようにご家庭でもお声かけをお願いします。
- 7 夏休み中も、土・日および学校閉庁日（10日～15日）以外は「営業中」です。気になることやご相談は遠慮なくいつでもどうぞ。
- 8 夏休み中は、「図書室」を「学習支援センター」として開放します。わからないところは先生方に質問することもできます。様々な日程が入って活用できない時間帯や日もありますが、ぜひ、積極的な活用をご家庭でも勧めてください。日程については、HPにUPします。
- 9 小森蒼一郎君（3年1組）平野倭愛さん（3年2組）柿田千代さん（3年4組）の3名が、8月18日（金）に原爆資料館ホールで行われる「平和学習発表会」に参加します。しっかり学んでください。
- 10 7月22日（土）に実施される「伊良木校区まつり」には、本校美術部も参加してくれます。「イラストお絵かき教室」で、祭りを盛り上げてくれます。

も、自分でプランを立てて実行する。そして、結果については自分が責任をとる。夏休みの課題、部活動、習い事、自主学習、家族のために地域のために自分ができること、自分に厳しく、自分を甘やかさず、何かに打ち込み、諦めず、粘り強く、欲を出して「自分を鍛える」「何かを成し遂げる」夏休みにしてください。

最後に、何よりも気を付けてほしい。自分の命も人の命も大切にしてください。

けなければならぬことは健康と安全です。3つ、約束してください。

- 1 規則正しい生活学習を行い、体や心をだらけさせない。
- 2 家族や地域の一人として、自分の役割を果たす。
- 3 桜中の生徒として、恥ずかしくない行動・誇れる行動をとる。

自分の命も人の命も大切にしてください。